

「もったいない」から「ありがとう」へ



フードバンクにいがた

ふーどん通信

ふーどん通信 No.6 2016年3月春号

発行：フードバンクにいがた事務局

〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-2

Tel 025-384-4466 Fax 025-384-8224

長岡センター Tel 090-2142-6119

E-mail: fbn@roukyou.gr.jp

~~~~~

ボラやって自分の満足見つけよう！  
みんなちがって、それでいい。

~~~~~

フードバンク全国組織結成

Waste not, want not.

フードバンクは、日本においては 40~60 団体が活動中であると推定されています。その中には、私たち「フードバンクにいがた」のように、小規模あるいは法人格なしに活動している団体も多数ある中、フードバンクが今後とも社会貢献していく上で、団体同士の対等な関係に立ったネットワークを構築し、相互に協力し合い、食品ロス削減や貧困問題解決に向けて寄与していくことを目的に、2015年11月13日、かねてより準備を進めてきた「フードバンク推進協議会」が全国 11 団体の参加をもって、東京にて設立されました。

同協議会は、当面の活動課題として、①政策提言・調査研究、②広報、③ノウハウ共有・新設フードバンク団体支援、④他フードバンク団体との協力体制構築の 4 点を掲げ、取り組んでいくことを設立総会において確認しました。また、規約案についても検討を行うとともに、日常的な執行役を担う世話人を選出し、世話人会及び事務局を発足させました。

総会後は会場を移し、記念シンポジウムを開催し、翌日は「フードドライブ」を中心テーマとする研修会が実施されました。

これまでに、同協議会が企画し、メジャーで活躍中の岩隈久志投手の賛同を得ての「全国フードドライブキャンペーン」が昨年 12 月~本年 1 月に取組まれるなどの活動が始まりました。今後、同協議会には、全国組織として政府に向けた政策提言などをはじめとする積極的な役割が大いに期待されるところです。

なお、設立の翌月には、埼玉県で活動する NPO 法人「サマリア」が、新たに会員に加わり、同協議会は 12 団体の構成となりました。



全国組織設立に参加した各団体の代表者

2016 年度総会のご案内

開催日：5月19日（木）

時間：14時~15時

場所：万代市民会館 6F

* 後日、会員の方には別途案内を送ります。

総会記念講演 15時15分~16時45分

講演者：会田きよみ(けやき食堂運営委員会代表)、小池由佳(新潟県立大学人間生活学部子ども学科准教授)、佐野政光(ナジャモ事務長)、立松有美(にいがた子育てステーション代表)、村山伸子(新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科教授) 敬称略

テーマ：「いまなぜ子ども食堂か 私たちにできること」

《食品提供団体の紹介》

パーソナル・サポート・センター（以下、PSC）は生活困窮者の相談支援を実施しています。平成24年度からモデル事業として実施され、27年度からは生活困窮者自立支援法に基づいた事業となっています。

PSCが食料支援を行う対象は、大きく分けて、3通りとなります。まず第一に、路上生活してきた方や窮乏した生活を送ってきた方で、何日も食事を摂っていない場合があります。こうした方々には、まず温かいカップラーメンなどを召し上がっていただいてからでなくては、相談支援が始まりません。第二は、通常は自立した生活を営んでいるが、病気や事故など不意の出費により、家計が急迫したために相談に来られた方に対して、緊急的臨時的に支援を行う場合です。第三は、継続支援が必要で、家計管理にも課題を抱えているため、現金ではなくて、あくまでも現物としての食料支援をする場合です。

いずれにしても、雨が空から降ってくるように、食料がただで手に入り続けるというのは、相談者の自立の観点から望ましいものではありません。また、支援の結果、本来ならば食費に振り向けられるべき金銭が、嗜好品や賭博に投じられるのも、食料提供者の善意をないがしろにするとと言えます。よって、上の第二の場合、あくまでも臨時的であり、繰り返しての利用はできないことを伝えます。第三の場合は、支援プランを作成し、期限を設けて、それまでの間に限り、食料支援することをお互いに合意するよう努めています。

生活困窮者自立支援、とりわけ食料支援をする上で、最も留意しているのは、相談者の尊厳を傷つけないということです。食べ物がない、食費にも事欠くという事態は、誰にとっても羞恥を覚えることだと思います。上から目線にならぬよう、支援させていただく姿勢で、今はたまたま相談者と支援者という立場・役割になっているにすぎないという考えで支援に取り組んでいます。

（文責：新潟市PSC主任相談支援員 蛭原 勝）

困りごと解決プロセス

- 支援を必要としている人に寄り添い、個別的かつ専門的な立場から相談・自立支援を行います。
- 地域の各団体・NPOや行政機関とのつなぎ役として、生活者の自立を目指します。



消費期限迫る食品を救え!! 「つれてって! それフードレスキュー」シール (右下)

売れ残ればまだ食べられるのに捨てられる食品が多い。そんな消費期限や賞味期限の迫った食品を積極的に購入するようアピールする試みが、2月19日、イオン葛西店（東京都江戸川区）であった。トマト、惣菜、パック詰め肉などに値引き表示されたなみだ目の「つれてって! それフードレスキュー」シールを貼って買い物客に訴えた。これは、すぐに食べるのであれば、「消費期限等が迫った商品から順に買う」習慣を啓発するための都の食品ロス削減プロジェクト。

評議員の江口歩さん（ナマラ代表）は、昨年秋のイベントで救出食品の低価格コーナーを利用者登録制で作ったかどうかと提案していたが、こういった試みが現実味を帯びて来ている。

寄贈食品は個人にも

PSCはFBにいがたが食品提供している団体の一つです。生活困窮者自立支援法が施行された15年、PSCの相談登録者数は前年比約2倍となりました。これに伴ってFBにいがたからPSCへの食品提供もぐんと増えました。

FBにいがたは食品を直接個人に渡してはませんが、上記の形で団体を通して食品は困っている人に渡っています。

食品をトラブルなく困っている個人に渡すためには、

- ① 誰に支援が必要なのかを捕捉すること。
 - ② 提供方法（配送など）の資金と人の確保がいること。
 - ③ いつまで、どれだけ支援が必要かの判断ができること。
- などの仕組みが必要です。他団体との連携はこの仕組みの多様性がメリットなのです。



Waste not, want not,
無駄なければ、不足なし

「ゆうやけ こども けやき食堂」春にオープン

4月7日から月2回「喫茶けやき」で開店します。学校の帰りに寄って、一緒にごはんを食べて、勉強したり本を読んだり、体遊びをして過ごせる「居場所」を提供します。

「ごはん」を通じて家庭と地域がつながる場、地域ぐるみでさみしさや、しんどさを抱える子どもたちを大人が見守り育てていく場です。こども食堂は

毎月第1木曜・第3火曜 16:30~20:00

喫茶けやき（新潟市西区上新栄町3-4-83）

五十嵐中学校前バス停近くログハウス

参加費：一人 200円

連絡先：025-260-7798

*フードドライブを前日の第1水曜と第3月曜の10~15時で実施いたします



子ども食堂とは

「今晚のご飯はボク1人なんだ」

「お母さんがお仕事の日はお弁当を買って食べるの」

そんなとき、こどもが1人でも入れるのが“こども食堂”です。栄養満点の温かいごはんをつくって待っているのは、近所のおじちゃん、おばちゃん、お姉さん、お兄さんたち。

（子ども食堂ネットワーク HP より）

様々な理由で生活困窮し、菓子パンやカップ麺ばかりの偏った食事をしていたり、いつも一人で食事をしているなどの子どもたちにバランスのとれた十分な食事を低価格で提供する場所。また、大勢で楽しく食事や宿題をする居場所。

フードバンクにいがたも応援します。

福ハ内。福祉モうちい。

小学校から幸せ願いお米の寄贈

濁川小学校の5年生が12月21日、学校田で育てたコメ約30kgを、当団体に寄付した。同校での贈呈式で、当団体から感謝状を受け取った児童たちは「自分たちの育てたコメを食べて幸せになってもらいたい」と思いを込めていた。

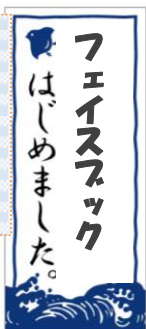
5年生は総合学習の授業でコメを収穫。活用法を話し合い、「困っている人にあげたい」という意見が挙がっていた。

渋谷里奈子さん（11）は「ご飯を食べたくても食べられない人がいると、テレビで知った。自分でも残さないようにありがたみを持って食べたい」と話した。（日報2015/12/25付け記事より）



濁川小学校児童へ感謝状を贈呈

フェイスブックを始めました。また、ホームページも更新しています。チェックして見て下さい。



2月に「JU新潟」様から多額の寄付を頂きました。



JA新潟中央会からフードバンクにいがたへお米の寄贈 2015年12月14日

新潟日報(16/2/9)「座標軸」欄に関連記事が。

◇今後のフードドライブの予定 ◇

- 4月10～20日 長岡市社協（期間常設）
- 5月10～20日 ながおか医療生協（期間常設）
- 毎月第二火曜日 10:00～12:00 江南区役所脇社協福祉センター
- 毎月第二土曜日 10:00～12:00 中央区万代シネ・ウインド
- 毎月第二土曜日 10:00～12:00 北区豊栄さわやか老人福祉センター
- 毎月20日 10:00～12:00 南区白井デイサービス「うすい」
- 毎月20日 10:00～12:00 南区社協福祉センター
- 毎月第三土曜 10～12時 JA新潟市きらきらマーケットいくとびあ食花
- 毎月月末金曜日 10:00～12:00 東区役所内社会福祉協議会
- 3月1日～常設 新潟市南区「白根健康福祉センター」業務時間内
- 3月1日～月・木常設 西区小針ささえあいコミュニティ生協新潟
- 3月1日～常設 中央区社会福祉協議会(コシジ3階)業務時間内
- 3月1日～常設 中央区西堀地下よろっ to ローサさま業務時間内

☆上記の場所は毎月開催してるフードドライブです！☆

フードバンクにいがた交流会のご案内

4月27日（水）、13時15分から14時15分、万代市民会館で、支援施設の方達やボランティアの方々との交流会を開催します。飲み物など用意して皆様の参加をお待ちしています。

ボランティア募集

15年度になって、新潟市内のフードドライブの実施場所が14カ所に増えました。そしてそれらのフードドライブに立ち会うボランティアが常に不足しています。特に北区豊栄さわやか老人福祉センター（毎月第二土曜日、10:00～12:00）にボランティアが足りていません。ボランティアの最初の一步を踏み出してみませんか。

今年こそは、チョコの寄贈が多数あるものと期待してました。が、しかし……。チョコは余らなかったのか～！



♡ご協力 ありがとうございます♡

28年度3月現在 会員団体・個人(敬称略・順不同)

- ・阿賀野市社会福祉協議会 ・オフィスサポートきすな ・自立援助ホームたいむ ・新潟県労働金庫 ・燕市
- ・ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟 ・NPO 法人女のスペースにいがた ・(一社)新潟県労働者福祉協議会
- ・新潟県総合生活協同組合 ・全農林労働組合新潟分会 ・石山味噌醤油(株) ・菊水酒造(株)
- ・(一財)新潟県ろうきん福祉財団 ・情報労連新潟県協議会 ・日本郵政グループ労働組合新潟連絡協議会
- ・UAゼンセン原信労働組合 ・連合新潟 ・NPO法人スマイルサポート新潟 ・日本労働組合総連合会新潟県連合会
- ・ワーカーズコープ北陸信越事業本部 ・新潟県高度情報社会生活支援センター ・新潟市公明党
- ・自由民主党新潟県第一選挙区支部 ・(株)アートグラフィック新潟 ・連合中越地域協議会 他 ・個人会員 102名

26年度4月～ 食品寄贈団体・企業(敬称略・順不同)

- ・ささえあい農場・阿賀野市社会福祉協議会・新潟県労働金庫・石山味噌醤油株式会社・大和ハウス工業株式会社
- ・JP 労組ユースネットワーク・五泉市役所 ・粋虎卯会
- ・ワーカーズコープ新潟事業所・角利産業(株)・新潟市他

28年度3月現在 受入施設・団体(敬称略・順不同)

- ・地域活動C石山 ・ライフデザイン ・女のスペースにいがた
- ・新潟天使園 ・スペースひなた ・たいむ ・SCLLC
- ・ささえあいコミュニティ生協新潟 ・NPO ピュアはーと
- ・FLIP ・NPO 子どもセンターほると 等の62団体

この他、寄贈いただいた一般家庭の皆様、生産農家の皆様、フードドライブを開催して下さった皆様、支援をいただいた会員の皆様に改めまして、感謝申し上げます。ありがとうございました。

農家の方からお米・人参・サツマイモ・たまねぎ寄贈も

万代シネ・ウインドでフードドライブ開催